

遺品整理によって 家族も気持ちの整理ができる

当社は、もとは「日本初の引っ越し屋さんのリサイクルショップ」です。引っ越しの時は、いろいろなものが出る。引っ越し屋さんに電話して、リサイクルショップにも電話して：「というの大変だから、うちで両方やりますよ」と。その仕事をしていくうちに、亡くなった方の部屋の片付けができなくて困っている人たちに出会いました。それなら、うちには片付けや清掃のノウハウはあるからやりましょう、と。それが、日本初の遺品整理会社、キーパーズの始まりです。

遺品整理というのは本来なら遺族がやることで、こんなサービスはないほうがいいのかもしれない。しかし現実には、片付けたいけど片付



キーパーズ 代表取締役 吉田太一さん

「遺品はゴミではない!」と考え、2002年に日本初の遺品整理専門会社キーパーズを設立。以降、全国各地の約8000件以上の遺品整理を施工。2006年には初めての著書「遺品整理屋は見た!」を出版し、2011年にはテレビドラマ化される。また、同社がモデルとなったさだまさしさん原作「アントキノイノチ」も2012年に映画化。

キーパーズ有限公司

〒143-0011

〒東京都大田区大森本町2-4-22

☎0120-754-070

http://www.keepers.jp/

けられなくて困っている人が非常に多い。最近では独り住まいで、親戚とも何十年も音信不通のまま亡くなる方も多いためです。そうになると、遺族も困る。葬儀は数日で済みませんが、遺品整理のために会社を休むわけにはいきません。特に遠方に住んでいたりすると、大変です。葬儀よりも遺品整理のほうが、ずっと時間がかかりますから。

遺品整理の現場には、その人の生きざまが残っています。片付けていると、遺族の知らないことに気づくことも。遺品整理を終えて、すっかり部屋をきれいにすることで、その人の生きざまを消して、その人の人生をきちんと終わらせることができます。だから、遺品整理によって遺族にも気持ちの整理がつくのです。そういう意味では、葬儀よりも意味深い仕事だと思っています。

ミニ

私の「エンディングノート」

遺族に負担をかけない為にも、自分亡き後の希望や意思をはっきりと残しておくことはとても大切なことです。やがて来る自分自身の死を直視することは勇気のあることかもしれませんが、自らの遺品の整理や、葬儀の形式、相続など様々な事柄について、改めて考え、計画を立てることによって、自分の気持ちが定まり、これからの人生を自分らしく充実したものとし、安心して暮らすことが出来るのではないのでしょうか。



キーパーズ関連書籍
私の遺品お願いします。
著者：吉田太一
定価：本体1300円+税
出版：幻冬舎



お預かりした遺品については遺品供養をおこなっている

■ キーパーズ 代表取締役

吉田太一さん

Taichi Yoshida

遺品には、 生きざまが残る

おひとりさまでも だいじょうぶノート。



人生のエンディングのためだけでなく、これからの残りの人生を有意義に生きるための内容を強く盛り込んだキーパーズ独自のエンディングノート

キーパーズのCSR(企業の社会的責任)への取り組みの一つ

「おひとりさまでもだいじょうぶノート」の無料配布

以下の必要事項をご記入の上、キーパーズまで「ハガキ」でお申し込み下さい。

●郵便番号 ●ご住所 ●お名前 ●ご年齢(差し支えない方)

●お電話番号 ●ご希望冊数(1冊・2冊)

※一世代様2冊まで。(送料無料でヤマトメール便にてお届けします)

※ハガキの他、メールフォームからお申込みを受け付けております。

e-mail: endingnote@at-at.jp ※お電話でのお問い合わせは、ご遠慮下さい。